

Kurilon Workshop News

クリロンワークショップ便り
No.40 2021 年 6 月

No.
40
春夏号

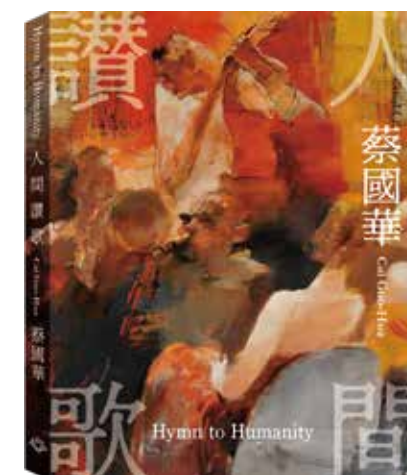


蔡國華：シドニーの太陽と緑の屋下がりの光景です。



----Information----

蔡國華「人間讃歌」



人物画作品をまとめた画集ができました。
1995 年から 2020 年までの作品に、貴重な
10 代の頃のデッサンを加え、140 点以上の作
品を厳選して収録しました。

サイズ：たて 280mm / よこ 255mm
上製本 160 ページ
販売価格：8,800 円（税込）

クリロンワークショップ出版
<https://book.kurilon-ws.com>



デザイン：加藤麻依子（クリロンワークショップ）

ユーザーの声をフィルムに表現する
クリロン化成株式会社
<http://www.kurilon.co.jp>

心が豊かであるために・・・
KURILON Workshop
<http://www.kurilon.co.jp/company/workshop/>

Art Space
画空間
<http://www.a-kukan.com/>

Studio
My空間
<http://www.a-kukan.com/mykukan/>

「2021年度入社式を迎えて」



新入社員インタビュー

Nさん

答辞という大役に、とても緊張していましたが、皆さんが笑顔で頷きながら聞いて下さっている姿を見て緊張がほぐれました。良い経験となり、より一層気が引き締まりました。

Oさん

人見知りの性格なので、リモートでの参加者が多く、とても緊張しました。中途入社の方の話を聞き、自身も今出来ることを精一杯頑張ろうと思いました。

Mさん

入社が始まる前や、休憩時間に先輩社員同士のやり取りを見て、皆さん笑顔で話をされていたので、その雰囲気ですぐに安心できました。取締役や先輩社員の言葉を聞き、「今日から社会人だ」という意識が一層強くなりました。

Tさん

入社するまでは、堅いイメージの会社だと思っていました。入社式の様子や先輩社員の話を聞き、アットホームな温かみのある会社だと感じました。

2021年4月1日、桜が満開の春に入社式が執り行われました。今年度は北海道製造課、大阪製造課、岡山製造課に高卒新入社員を迎え入れました。

取締役の栗原和志による祝辞や先輩社員による歓迎の辞が述べられ、新入社員は社会人への決意を胸に熱心に話を聞いていました。コロナ禍の中、昨年に続き二度目となるリモートでの入社式ですが、学生から社会人への良い門出を迎えた日となりました。

当社の入社式では、昨年入社した中途入社社員も参加しており、中途入社社員の自己紹介では、新入社員より質問の手が挙がり、その積極的な姿勢が嬉しく、場を和ませてくれました。

今回は、入社式を終えた新入社員の声をご紹介します。

人材部

「若手卒業研修」

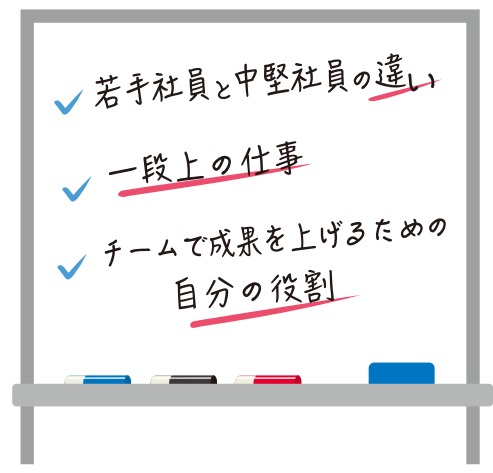
若手研修とは？

昨年度より入社後3～4年目の社員を対象とした新しい社員研修がスタートしました。若手社員と中堅社員のはざまの時期に実施するので、その名も『若手卒業研修』です。

入社から現在までを振り返り、経営理念への理解を深めながら、自身の成長や貢献について、全4回の勉強会を通して考えます。

研修の様子

初年度の今年は、「若手社員と中堅社員の違い」や「一段上の仕事」、「チームで成果を上げるための自分の役割」などといったテーマが挙げられ、先輩社員や上長、さらには社長や取締役も参加して率直な議論が行われました。中には現在抱えている疑問や課題を直接社長や取締役や他部署の先輩に相談する場面もあり、充実した研修となりました。



参加者の声

研修に参加した若手社員と、上長・先輩社員の声をご紹介します。

若手社員 営業職

入社して4年が経ちましたが、理想と現実の乖離、それに対する改善点は何かといった事を、先輩も交えながら話が出来ました。今後の仕事への姿勢や、やるべき内容が明確になり、あとは積極的に行動に移していくだけです。自分たちの長所についても話ができ、良い面は伸ばしつつ、さらに成長していきたいと思っています。

若手社員 製造職

研修が始まるまでは、自身の将来や自覚や振る舞い、今後クリロンの一員として自分自身がどうあるべきかが漠然としか考えられず不安や悩みが多くありました。同じ悩みや不安を経験された先輩からアドバイスを頂き、ぼんやりしていた今後の自分像をはっきりさせることができました。

先輩社員 事務職

若手社員の仕事への向き合い方、委員会活動などの取り組みを聞くことができ、現状に甘んじてはいけなさと、自分自身も触発されました。

上長 製造職

このような研修を通して部署を跨いだ同期社員同士が現状と今後についてディスカッションしていく場はとても良い機会だと思います。参加者が活発な意見交換や質問をしており、各人しっかり理想像を持つことができたと感じました。



▷卒業生の皆さんを囲んで



画空間10周年記念
蔡國華新作展 - Impressions of Sydney -

©画空間 2021年4月16日～23日

「久しぶりね、乾杯しましよー！」「彼女まだかなあ…」

今展に向けシンドニーから送られてきた新作は、街中のいろんな音、香り、登場人物の会話までがありありと伝わってきて、描かれた情景が鮮やかな色彩とともに心地よく身近に感じられます。

世界が暗澹としている中、観覧くださった方々に爽やかな風と明るい気持ちをはこんでくれる作品でした。

展覧会初日と同日発売された人物画集『人間讃歌』の表紙作品「饗宴」も、新作15点とともに展示され、ご来場の方々の笑顔が弾ける心とむ展覧会…絵の中の街にかけられる日が早く来ると良いですね。

クリロンワークショップ
所由香



展覧会の様子は、こちらのYoutube動画をご覧ください
<https://youtu.be/2pAG37HjOQU>



「下村式漢字の絵本」から気になる漢字を選んでご紹介！！

今回の漢字は「犬」

この漢字は、犬の姿そのものがもとになっています。犬と人間の歴史は長いもので、1万年以上前に遡るのではないかという説もあります。

そして近年、「セラピードッグ」という犬たちの活躍を目にする機会が増えました。ケアホームや病院で活躍する彼らは、コロナ禍で面会機会の減ったお年寄りや入院患者の心の支えともなっているそうです。

どんな時代も、犬は人間の心に寄り添ってくれる大きな存在ですね。



クリロンワークショップ
小西 由夏

研修終了後には、若手卒業式を執り行い、各自が今後のビジョンを描いた『自分史』を発表、晴れて中堅社員の仲間入りを果たしました。

人材部



△記念品贈呈の様子

卒業記念には当社オリジナルデザインの水筒をプレゼント。デザインは、Adobe Illustrator技能を有する社員が担当しています。



「未来」をテーマに、風景などを取り入れてみました。柔らかなイメージを出したかったので、色味や線の太さをどうするかでかなり悩みましたが、青を基調にした落ち着いた色合いで、男女共に使いやすいデザインにできたと思います。実はこっそりクリロンのロゴを入れています。

開発営業部 田村、木村